

柳津小部会		第2回 やないづ学校運営協議会 熟議の記録	
ア「『目指す子どもの姿』実現に向けた取り組み」			
焦点化・重点化する内容		具体策	検証方法
【郷土愛】 ○郷土食や伝統文化の学習を積極的に取り入れます		・体験学習や見学学習の場や機会多くをつくる	・柳津ならではの食材や人との関り、作る手間なのなどを調べたり体験したりすることで検証していく
【学び】 ○読書に親しみます		・授業の中の身近な所から、本に対する興味をもたせ、継続的に取り組んでいく	家庭での時間の確保が難しいが家読やノーマディアを活かして取り組めるかを検証していく
【学び】 ○「コレナニ？」を探し、調べる子ども		授業の中で、「分かった」「できた」が増えていけば、子ども達の様々な興味・関心が高まっていく。そのため、普段の授業から主体的な学びの場を工夫して取り入れ、授業の充実に努めていく	子ども達の興味関心が高まると、豊かな体験が増え、柳津への郷土愛も深まってくるだろう。
広報の具体策（いつ、どこで、だれた、どのように）			
児童生徒へ ○HPを掲載する際に「目指す子どもの姿」実現に向けた取組にある、該当する活動や学習の一文を紹介しながら掲載する。 ○PTA総会や授業参観などで、「目指す子どもの姿」実現に向けた取組を紹介していく。		保護者・家庭へ	地域へ ○選挙ポスターのように、町の方々が見える場所に掲示する
「『目指す子どもの姿』実現に向けた取組」について、いろんなところでキャンペーンも必要（SNSや広報、学校HP等）。			
イ 各学校、地域ならではの課題解決（観光、防災、安全、少子化等）			
校長が特に協議を求める内容		解決策（地域連携や協働活動等）	
○放課後の児童看護について 授業が終わっていても、バスの時間まで、各担任がバス待ちの児童を看護している。そのため、先生方への研修や会議の機会が設けられない。		・地域や家庭との理解と連携 ・バス待機児童への公民館活用 ・バス時間の変更 ・スクールバスの活用	
今後、熟議として取り上げたい内容			部会としての方向性（決定）
<div><div></div><div>（吹き出し）は、全体協議で口頭で説明があった内容。</div></div>			